

＜第2回 連携・教育フォーラム＞ これからの教員の質的向上をめざして

— 広島大学大学院教育学研究科と東広島市教育委員会との連携を中心として —

「教育は人なり」、「教師は、最大の教育環境である」と言われるように、国民が求める学校教育を実現するためには、子どもたちや保護者はもとより、広く社会から尊敬され、信頼される質の高い教師を養成・確保することが不可欠であるとされています。教員の質の向上のためには、養成、採用、研修、評価等の各段階における改革を進めていく必要があります。

平成16年度に広島大学大学院教育学研究科と東広島市教育委員会とは、現代的な教育課題に対して連携して研究を進めるために覚書を交わしました。今回のフォーラムは、この連携を最大のメリットとして捉え、教員の資質・能力の向上及び教育上の諸課題について、お互いがどのような連携をとればその効果を上げていくことができるかを、このフォーラムを通して探ってみようとするものです。

■ 日 時 平成17年12月26日（月） 13:30～16:30
(受付13:00～13:30)

■ 会 場 広島大学大学院教育学研究科 L棟205号室

■ 基調講演

講 師：林 孝 先生（広島大学大学院教育学研究科助教授）
演 題：これからの教員に求められるもの

■ パネルディスカッション

テーマ：これからの教員の質的向上をめざして

— 広島大学大学院教育学研究科と東広島市教育委員会との連携を中心として —

コーディネーター

石井 博基 東広島市教育委員会指導課長

パネリスト

棚橋 健治 広島大学大学院教育学研究科教授

廣田 智明 広島大学教育学部数理系コース4年生

灰山久美子 高屋中学校教諭（研究主任）

祭田 学 西条小学校教諭（研究主任）

高木 伸夫 東広島市教育委員会指導課課長補佐



主 催 東広島市教育委員会 広島大学大学院教育学研究科